

第1部 後期基本計画

(2006～2010)

所沢市総合計画の変遷

第1次総合振興計画 [昭和44(1969)年3月策定]

計画期間 昭和44(1969)年～昭和50(1975)年までの7年間

将来都市像 緑豊かな田園住宅都市

第2次総合振興計画 [昭和51(1976)年3月策定]

計画期間 昭和51(1976)年～昭和60(1985)年までの10年間

将来都市像 緑豊かで格調高い文化都市

第3次総合振興計画 [昭和61(1986)年3月策定]

計画期間 昭和61(1986)年～昭和75(2000)年までの15年間

将来都市像 人と自然との調和した機能的な中核都市

第4次総合計画 [平成13(2001)年3月策定]

計画期間 平成13(2001)年～平成22(2010)年までの10年間

将来都市像 ゆとり・うるおい・活力ある生活文化都市

I はじめに

- 1 計画の策定趣旨
- 2 計画策定の視点
- 3 計画の特長
- 4 計画の期間
- 5 計画の構成
- 6 計画の見方
- 7 計画の評価

1 計画の策定趣旨

本市では、平成13(2001)年3月、21世紀初頭における本市の進むべき方向と望まれる将来像を掲げた「第4次所沢市総合計画・基本構想」を策定しました。同時に、この基本構想に基づき、平成17(2005)年度を目標年次とする「前期基本計画」を策定し、将来都市像「ゆとり・うるおい・活力ある生活文化都市」の実現に向けて取り組んできました。

この間、本市を取り巻く行財政環境が厳しい中で、各種の施策を実施してきましたが、前期基本計画の計画期間が平成17年度で終了することから、その進捗状況や実績を総括するとともに、今後5年間に取り組むべき課題について検討を行い、平成22(2010)年度を目標年次とする「後期基本計画」を策定しました。

この計画に基づき、基本構想に掲げた「まちづくりの目標」並びに「構想実現に向けた行財政運営」の実現に向けて、本市のまちづくりを総合的、計画的に進めます。

2 計画策定の視点

(1) 誰にもわかりやすい計画作り

後期基本計画は、行政の運営目標を示すだけでなく、市民と共通の“まちづくりの目標”として誰にもわかりやすい、“市民の目線”に立った計画づくりを行いました。

(2) 市民参加・職員参加による計画づくり

「市民の声を活かす職員行動指針」に基づき、市民参加の機会と場の確保につとめ、市民と職員との協働による計画づくりを進めました。

(3) 政策評価・施策評価と連動した計画づくり

事務事業評価の結果を活用し、施策ごとに主要事業の成果指標を設定するとともに、政策評価・施策評価と連動した計画づくりにつとめました。

3 計画の特長

(1) 「7つのまちづくりの目標」並びに「計画の推進に向けた行財政運営」の施策体系と重点事業を各章の冒頭に掲げるとともに、各施策の現状と課題、基本方針、計画、達成目標を節ごとに示しています。

(2) 基本構想に掲げた「21世紀の展望と課題」をふまえ、複数の章にまたがる課題に総合的に取り組むため、「横断的に取り組む主要課題」を掲げています。

(3) わかりやすい計画づくりの視点から、全体に簡潔で的確な記述を心がけ、基本的に各施策の内容を見開き2ページにまとめています。

(4) 政策評価・施策評価の導入に向けて、各施策の進捗状況を定量的に把握するため、目標指標と目標値を設定しています。

4 計画の期間

後期基本計画の計画期間は、平成18(2006)年度から平成22(2010)年度までの5カ年間とします。

5 計画の構成

後期基本計画は、基本構想に掲げる「7つのまちづくりの目標」を「1章から7章」に位置づけるとともに、それらの目標を実現するための行財政運営を「8章」に提示しました。また、基本構想で示した「21世紀の展望と課題」をふまえ、複数の章にまたがる4つの課題を、「横断的に取り組む主要課題」として掲げています。

これら基本計画に示した主要な課題や事業については、実施計画の中で具体的に取り組んでいくこととなります。

【総合計画の構成】

●基本構想（2001～2010年）

まちづくりを進めるための施策の基本方針を示します。

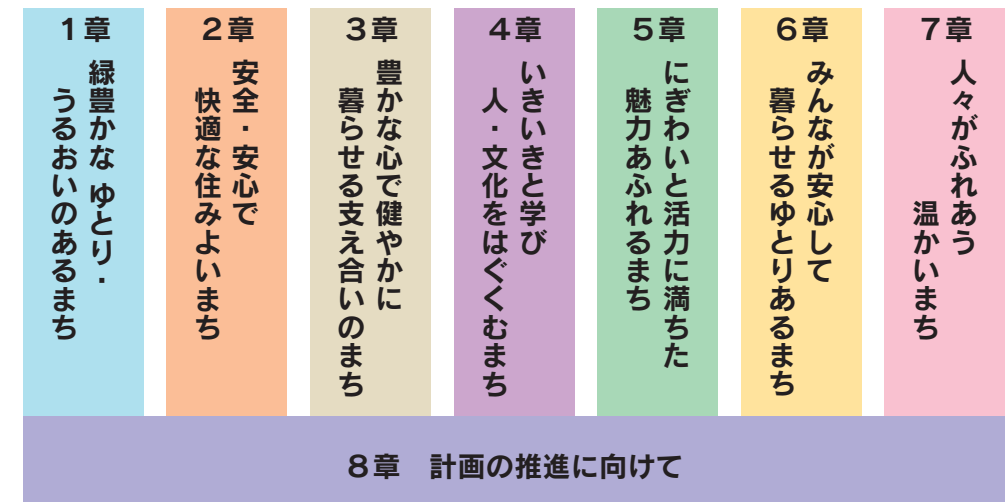
後期基本計画（2006～2010年）

基本構想を実現するための体系や方針、主要事業を示します。

実施計画（3年計画で毎年度見直し）

基本計画で定めた施策や主要事業などの具体的な実施期間や方策を示します。

【後期基本計画の構成】



+

複数の章にまたがる『横断的に取り組む主要課題』

6 計画の見方

各章は複数の節(施策)で構成されており、その内容は次の7つの項目から成り立っています。

【施策体系】

各章の冒頭に章全体の施策を示しています。

【今後5年間に重点的に取り組む事業】

後期基本計画の期間中に、重点的に取り組む主要事業と概算事業費を示しています。概算事業費は、今後の財政状況や事業の進捗具合によって変動する場合があります。

【分野別の主な計画】

各章に関連する分野別の計画を示しています。

【現況と課題】

全国的な状況や本市の現況に関する概要をまとめるとともに、前期基本計画における主な取組実績を示しています。また、現況や実績をふまえ、将来に向けて取り組むべき課題を箇条書きでまとめました。

【基本方針】

課題に基づき、施策を進めていくための基本的な方針、考え方を示しています。

【計 画】

施策体系に基づき、基本方針に沿った施策の内容を個別に示しています。

【5年後の目標】

計画に基づく施策の進捗状況を示す目標指標と目標値を設定しました。

目標指標のうち、「市民の満足度に関する指標」の現状値については、次の2つの調査結果を使用しています。

◎市民意識調査：平成15(2003)年度に、後期基本計画の基礎資料とすることを目的として実施した調査。調査手法は「郵送配布・郵送回収法」。(標本数：5,000人、有効回収数：2,231人)

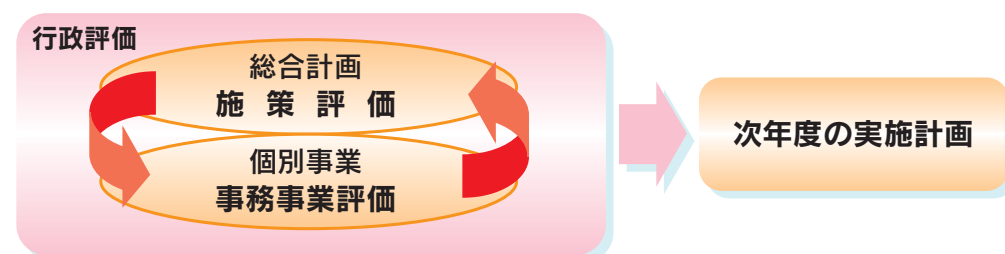
◎市民意向調査：平成17(2005)年度に、「5年後の目標」の指標の中で、市民満足度に関する指標の現状値を把握することを目的に実施した調査。調査手法は「来場者調査(自記式または面接式)」。(回答者数：533人)

7 計画の評価

後期基本計画では、各節ごとに「施策評価」を行い、目標の進捗状況を毎年度評価することにより、次年度の実施計画に反映させていきます。

「施策評価」にあたっては、各節に掲げた「5年後の目標」をはじめ、施策や事業の基本データや他の自治体と比較するベンチマーク^{*}などを参考にするとともに、事務事業評価の結果を活用します。

【施策評価と事務事業評価の連携…概念図】



*ベンチマーク……もともとは測量用語で基準点をあらわす。地域の望ましい姿を具体化するために設定された指標や目標値のこと。

II まちづくりの目標

第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち

第2章 安全・安心で快適な住みよいまち

第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち

第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち

第5章 にぎわいと活力に満ちた魅力あふれるまち

第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち

第7章 人々がふれあう温かいまち

第8章 計画の推進に向けて